



すくすくだより



3月号



明原保育園

寒さも和らぎ、だんだん春の気配がしてきました。3月は次の出会いのための別れやそれぞれ新しい生活への準備に大忙しですね。そして3月には色々な記念日があり、3日は皆さんがよく知っている「ひなまつり」、加えて「耳の日」でもあります。今回のすくすくだよりは耳の病気「突発性難聴」をご紹介します。



突発性難聴を知っていますか？



この病気は気づかれにくく、発見が遅れた場合は聴力が失われてしまう可能性も高いため、日頃からお子さんに関わる保護者の方々に始め皆さんに知っておいていただきたい病気のひとつです。

どんな病気？

この病気で話題となった方に歌手の浜崎あゆみさんがいるので、ご存知の方も多かもしれません。

突発性難聴とは今まで特に耳の病気をしたことがない人が、突然耳が聞こえなくなり、発症する直前にめまいや吐き気、耳なりを起こすこともある病気です。多くの場合、片方の耳になるといわれています。

症状の理由は、音を脳へ伝えたり、体のバランスをとる役割をしている耳の奥にある内耳という部分が動かなくなってしまうからです。

原因!?

原因は具体的に分かりません。ある調査では、非常に忙しくしている人や睡眠不足の人、ストレスが強い人、お肉や脂肪分が多い洋風の食事の人、生活リズムが不規則な人に発症しやすいという結果が出ています。



サインを見逃さないで!



全体の発症年齢は40~65歳が多く、10歳未満の発症は約1%といわれていますが、幼児での発症もみられます。

子どもに発症すると大人と違い、耳が聞こえなくても自覚がないことが多く、1対1で話している場合も無意識に聞こえる方の耳を使って聞いているため気づかれにくい特徴があります。

こんなサインはないですか？

※もしかして「突発性難聴」の可能性!?

- ①「目が回る」「気持ちが悪い」「耳に何かつまっている感じがする(耳閉塞感)」という訴えがある場合
- ②ざわざわしたところで聞きにくそうに近づいて聞いている場合
- ③イヤホンをはめた耳が聞こえない場合



上記のサインが見られたら、すぐにお医者さんにかかり早めの治療が必要になります。

発症後すぐであれば、聴力の改善もありますが、難聴状態が長く続くと回復も難しく一生に関わってしまうため早期の発見と治療が大切です。

3月の健診日程のお知らせ

4か月児健診(受付 9:00~10:50)

4・11・18・25日

1歳6か月児健診(受付 12:50~14:00)

5・12・19・26日

3歳児健診(受付 12:50~14:00)

6・13・27日

場所 母子保健センター

対象者には、ご自宅へ健診日の約1か月前に健診票が郵送されますので、この案内の日時に健診を受けてください。

豊橋市役所 保育課 保育グループ

保健だより

2008年3月1日